

地下鉄・市バスの民営化 市民にメリットなし!

地下鉄・市バスの民営化問題が、大阪市会で大きな焦点になっています。市営地下鉄は、80年の歴史をもち、税金と運賃収入で育ててきた市民の共有財産です。

市民にとってメリットのない「民営化」の真実に迫ります。



黒字1日1億円! 市営の実績!!

トイレ改修・1区料金値下げ

平松市長時代(2011年3月)の計画ではじまったトイレ改修が実現しました。

地下鉄は13年前から単年度黒字を続け、6年前には全国で初めて累積赤字を解消、今や1日1億円の黒字を生む超優良公営企業です。この黒字を使って1区間の料金の値下げも実現しました。

“市営交通”の立派な実績であり、「民営化」の成果ではありません。

いよいよこれから、市民の足を守るためバスへの支援と安全・安心のために大きな黒字が活用できるのです。

「民営化」は退職金などの支払いで運転資金が枯れる!

交通局の「民営化」計画によると必要な資金が職員の退職金1,040億円や新法人の登録免許税の支払いを含め1,492億円も必要。交通局の所持金(2017年度末)は1,562億円ですから、「民営化」後にはわずか70億円と今の20分の1しか残りません。

「民営化」しなければ本来不要な支払いです。これで運転資金が無くなり、安全対策など必要なことが何もできなくなります。

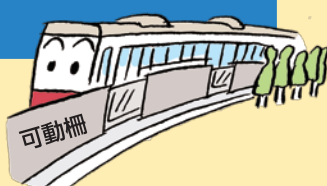
「民営化」で安全が二の次に!

JRの尼崎脱線事故が物語るように、「民営化」は安全の軽視につながります。

津波や河川の氾濫で水没の危険がある地下鉄や地下街の防災対策は待たなしです。

また、8月に東京メトロで発生した視覚障がい者の転落死亡事故、地下鉄大国町駅や近鉄国分駅で死亡事故が連続しています。可動式転落防止柵の設置が急がれます。

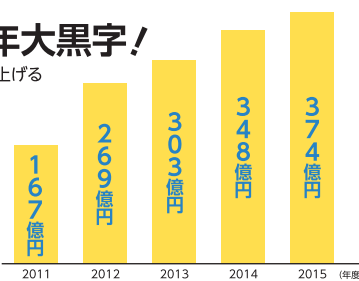
市営のまま安全最優先の地下鉄・市バスにしましょう!



地下鉄は毎年大黒字!

今や1日で1億円の利益を上げる超優良企業です。

大阪市営地下鉄の黒字額



民営化・株売却でカジノの資金!? ねらいは大阪市をなくす「都構想」

吉村市長は、9月にシンガポールに外遊してカジノ視察、カジノ誘致にご執心です。地下鉄は「完全民営化が理想」だという吉村市長、株式100%を大阪市が保有し続けるという保証はどこにもありません。

「株売却で地下鉄に投じたお金を回収し、再投資に回せる。いわゆる錬金術だ」(2013年11月)と言った橋下前市長同様に、市民サービスを切りすて、財産を売りどばし、大阪市を廃止・解体して「都構想」へつきすすもうとしています。

